

ニューデリー 12月30日後発
本省 12月31日前着

第三七九號

⁽¹⁾本代表ハ交渉促進ノ見地ヨリ更ニ左ノ提案ヲ爲ス

一、緬甸政府ハ日本ノ棉花買付義務量ヲ年輸出可能量ノ六五%ヲ下サル量トシ其ノ最高量ヲ七萬八千俵トスル提案ヲ固執ス

輸出可能量ハ一應十二月ニ公表セラルル政府ノ見積量ニ依ルコトトシ後七月迄ノ實際輸出量及輸出未済量ヲ以テ義務量算定ノ基礎ト爲シ之ヲ日本政府若ハ其ノ代表者ニ通知スヘシ

緬甸政府ハ棉花價格ノ「アブノーマル」ノ騰貴ニ關シ與ヘタル保障ハ依然之ヲ固持シ更ニ日本カ義務量ノ完全買付ヲ爲サル場合ト雖輸出可能量殘存セサル場合ニ於テハ日本ヲ保護スル規定ヲ設クルコトニ同意ス

二、右買付義務量ニ關スル提案カ受諾セラルルニ於テハ緬甸政府ハ日本カ義務量ノ買付ヲ爲サル場合議定書ノ廢棄ヲ爲シ得ヘシトノ緬甸案ニ反對ナルニ鑑ミ日本政府ノ希

望ヲ尊重シ右案ヲ撤回シ義務量ノ買付ヲ爲サル場合棉花買付不足一千俵毎二十四萬碼ノ割合ヲ以テ綿布量ヲ減スヘキ條項ヲ新議定書中ニ挿入スル用意アリ

⁽²⁾三、緬甸政府ハ右ノ提案ヲ爲スト雖斯ノ如ク「ペナルチー」條項ヲ必要トスルカ如キ場合ノ起ラサランコトヲ希望ス

四、緬甸政府ハ品種別ニ關スル日本ノ提案ハ其ノ儘受諾シ得サルモ貿易ノ趨向ヲ考慮シ急速妥結ノ見地ヨリ合理的妥結ノ精神ヲ以テ日本側ノ意嚮ニ副ハンカ爲品種別割當ヲ左ノ如ク定ムル用意アリ

生無地 二〇%

晒 一〇%

色物 七〇%

五、緬甸政府ハ色物ノ輸入安定ノ爲色物細別ニ關スル提案ヲ固執ス而シテ近年ニ於ケル捺染及其ノ他色物輸入ノ平均率ヲ考慮シ更ニ貿易ノ最近ノ傾向ヲ加味シ捺染三五%、其ノ他三五%ト爲ス用意アリ

六、右ノ提案ハ日本政府カ棉花買付義務量ヲ輸出可能量ノ六五%トスルコトヲ受諾シ更ニ其ノ他ノ點ニ付満足ナル妥結ニ達スルコトヲ條件トス

日本外交文書

昭和期Ⅱ第二部第五卷
(昭和十一年対欧米・國際關係)

日付索引

昭和期Ⅱ第二部第五卷
（昭和十一年対欧米・国際関係）
日付索引

事項文書 番号 番号	日付	電信 書信 番号	発・受信者	件名	頁
------------------	----	----------------	-------	----	---

一月

二	7	昭和11年1月1日	一	在ジュネーブ横山国際会議事務局長代理兼総領事より 広田外務大臣宛（電報）	委任統治問題に關し非連盟国たる受任国と連盟との關係に關する連盟委任統治部長との応答要領について	46
三	78	昭和11年1月7日	公機密八	在エチオピア鈴木臨時代理公使より 広田外務大臣宛	公使館開設のためエチオピア到着後における同国外相への表敬訪問について	199
二	8	昭和11年1月9日	一	在仏国佐藤大使より 広田外務大臣宛（電報）	シリアとの通商に關する日仏協定締結に際しても委任統治地域での非連盟国通商均等待遇に關する我が方根本主張を明示すべき旨具申	47
			付記	通商局作成、「昭和十一年度執務報告」より抜粋 右協定骨子		48
五	315	昭和11年1月9日	機密合一	在コロンビア岩手公使より 在米國斎藤大使、在ペルー村上公使、 在キューバ伊東臨時代理公使宛	コロンビアの対日通商政策急変の背景には米國の策動があるとの我が方商業使節団觀察について	594
二	9	昭和11年1月11日	二	在ジュネーブ横山国際会議事務局長代理兼総領事より 広田外務大臣宛（電報）	委任統治問題に關し連盟理事会への我が方出席問題および連盟理事会報告案・決議案等につき連盟委任統治部長内話について	49

四	173	昭和11年1月11日	二二	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	ソ連中央執行委員会における首相演説について	50
二	10	昭和11年1月13日	四	別電一 一月十一日発在ソ連邦大田大使より広田外務大臣宛第二三号 右演説中対日関係部分の概要 二 一月十一日発在ソ連邦大田大使より広田外務大臣宛第二四号 右演説中対日関係および国防関係部分の概要 在ジュネーブ横山国際会議事務局長代理兼総領事より 理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	委任統治問題に關し連盟理事会への我が方代表者派遣の有無確認方連盟委任統治部長より要請について	51
三	79	昭和11年1月14日	一九	在仏国佐藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	対伊石油制裁追加問題および我が方への制裁適用問題に關する仏国首相談話について	203
四	174	昭和11年1月15日	三三	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	漁業条約改訂交渉において我が方の主張する抽選案に対してソ連側は競売制の維持を固執について	330
五	316	昭和11年1月15日	一三	広田外務大臣より 在米國齋藤大使宛(電報)	対フィリピン綿布輸出に關する米國側の主張は不当であり我が方の誠意を無にするものであるとの趣旨で米國側説得方訓令	595
四	175	昭和11年1月16日	三八	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	北樺太鋳業会社経営の石炭鉱山における労働規則違反を報じたイズヴュエスチヤ記事について	333
二	11	昭和11年1月18日	八	在ジュネーブ横山国際会議事務局長代理兼総領事より 広田外務大臣宛(電報)	委任統治地域での非連盟國通商均等待遇問題審議を回避した連盟理事会へは我が方は参加しない旨連盟事務局総長宛回答文手交について	53
三	31	昭和11年1月18日	機密一〇	在トルコ德川大使より 広田外務大臣宛	トルコの海峡防備問題の現状ならびに各國の反応および我が方への影響につき報告	85
三	80	昭和11年1月18日	六	在エチオピア鈴木臨時代理公使より 広田外務大臣宛(電報)	エチオピア駐在外交・領事団会合において決定された在留民保護要領について	204
四	176	昭和11年1月21日	五五	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	漁業条約改訂交渉において競売制問題ならびにループル換算率問題および日ソ両國人の均等待遇問題に關し応酬について	333
一	1	昭和11年1月23日	一〇	在獨逸井上臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	第六十八回議會での外務大臣演説に關する獨逸國紙報道振りについて	1
四	177	昭和11年1月23日	四	在アレクサンドロフスク緒方総領事より 広田外務大臣宛(電報)	北樺太鋳業会社に關するイズヴュエスチヤ記事に對し記事取消要求等はせず慎重に對処するとの方針について	335
四	210	昭和11年1月23日	米一機密 一四	在米國齋藤大使より 広田外務大臣宛	フィリピンとの關係に關する我が方の立場について	406
三	81	昭和11年1月24日	七	在エチオピア鈴木臨時代理公使より 広田外務大臣宛(電報)	出張中の我が方陸軍大尉に對しエチオピア外相より武器購入および飛行士派遣方内密申入れについて	205

四	178	昭和11年1月24日	五八	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	北樺太鋳業会社に対して至急危険地区の作業を一時停止し危険防止措置を講じるよう申入れ方外務人民委員代理要請について	336
一	2	昭和11年1月(24)日	特情巴里 一〇	在仏国佐藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	第六十八回議会における外務大臣演説中我が方の対中国政策および海軍軍縮問題への対応振りに注目した仏国紙報道振りについて	14
一	3	昭和11年1月25日	六三	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	第六十八回議会における外務大臣演説に關し我が方反共產主義政策批判等のソ連紙報道振りについて	16
五	317	昭和11年1月25日	二八	在米國齋藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	軍縮會議脱退後の日米關係調整および日米通商關係一般等大局的観点からフィリピン綿布輸出量算定問題での譲歩が得策の旨意見申	596
四	179	昭和11年1月27日	本機密八	在アレクサンドロフスク緒方總領事より 広田外務大臣宛	北樺太鋳業会社に関するイズヴェスチヤ報道は事実無根とは言えないためソ連側との論争は見合せ同社を善導してゆく方針について	337
三	32	昭和11年1月29日	公普通三八	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛	英國國王崩御に対するソ連側要人の対応振りが従来における類似の場合と比して非常に丁重との觀察について	95
三	82	昭和11年1月29日	公機密一七	在エチオピア鈴木臨時代理公使より 広田外務大臣宛	エチオピア赤十字關係者より我が方赤十字社からの援助物資無事到着および各國赤十字の援助振りにつき説明について	205
四	180	昭和11年1月29日	三一	広田外務大臣より 在ソ連邦大田大使宛(電報)	北樺太鋳業会社に関するイズヴェスチヤの警告的報道は問題の解決とはならない旨ソ連側へ適宜指摘方訓令	346
三	33	昭和11年1月30日	一	在スウェーデン白鳥公使より 広田外務大臣宛(電報)	英國國王崩御に対するソ連側の弔問により英ソ關係が緊密化する危険につき注意喚起	96
			付記	二月十三日発在英國丸山大使館付陸軍武官より杉山參謀次長宛電報 英ソ關係の緊密化はソ連の期待程ではないとの情報について		97

二月

四	181	昭和11年1月31日	八四	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	滿州國部隊の越境によりソ連側と戦闘になつた旨外務人民委員代理より注意喚起について	346
			二一月			
四	211	昭和11年2月1日	一六	在獨国井上臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	植民地領有に關する獨国首相等の演説につき同國外務省から事情聴取について	409
五	318	昭和11年2月3日	三一	広田外務大臣より 在米國齋藤大使宛(電報)	対フィリピン綿布輸出規制問題に關する我が方通商局長と在本邦米國商務官との會談内容について	598
四	182	昭和11年2月5日	一〇四	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	漁業條約改訂交渉における我が方の姿勢は非妥協的であるとのソ連側非難について	347
			付記	幣原喜重郎稿 「昭和十一年十二月日ソ漁業暫行協定成立に關する経緯の一局面」		348
四	137	昭和11年2月6日	郵一	在米國齋藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	米國對外政策の傾向と我が國が執るべき対米政策に關する包括的報告について	270
四	212	昭和11年2月6日	六〇	在仏國佐藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	仏ソ關係は極東に影響を及ぼさないと従来の方針を踏襲する旨仏國新外相確言について	410
五	365	昭和11年2月7日	二四	在バタビア石沢總領事より 広田外務大臣宛(電報)	日・蘭印間通商問題解決に關する蘭印經濟長官との會談について	663
			付記	通商局作成「昭和十一年度執務報告」より抜粋 日蘭會商の経緯について		665
三	34	昭和11年2月8日	六	在ポーランド伊藤公使より 広田外務大臣宛(電報)	パリないしはロンドンにおける英國國王葬儀出席の各國首脳會談において中欧問題および英ソ接近問題等につき討議について	98

三月

三	83	昭和11年2月28日	二二	在伊国杉村大使より 広田外務大臣宛(電報)	伊国首相より仏国に石油禁輸は既成条約の存在理由を失わせ英仏の圧迫は日独伊接近の気運を高めると注意喚起について	207
五	366	昭和11年2月26日	三二	在英國藤井臨時代理大使宛(電報)	日印会商開催について英國政府へ申入れ方訓令	672
四	191	昭和11年2月22日	一四二	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	滿蒙間に国境紛争発生との外務人民委員代理の注意喚起に対し反論について	362
四	190	昭和11年2月22日	一四〇	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	滿蒙間にも国境確定委員会を設けるとの外務人民委員代理の提案に賛成しつつ国交樹立交渉を進めるべき旨提案について	359
四	189	昭和11年2月22日	一四二	在滿州国南大使より 広田外務大臣宛(電報)	金廠溝事件および滿ソ間領事館問題に関する滿州国側の対応振りにつき同国外交部次長内話について	358
三	36	昭和11年2月22日	八二	在仏国佐藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	仏国外相よりロンドンにおける英ソ会談につき聴取ならびに同外相および同国連盟事務管掌大臣に対し日独同盟説打消について	103
四	188	昭和11年2月21日	一三九	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	国境紛争事件調査委員会への第三国人加入案については同意困難との我が方主張にソ連側同意について	357
四	187	昭和11年2月19日	九七	広田外務大臣より 在滿州国南大使宛(電報)	て	356
四	186	昭和11年2月18日	一三三	在滿州国南大使より 広田外務大臣宛(電報)	ソ連領内滿州国領事館の閉鎖には不同意である旨滿州国外交部北滿特派員説明について	356

三	35	昭和11年2月10日	郵七	在伊国杉村大使より 広田外務大臣宛(電報)	國際政局上の重要問題と化した中欧問題に対する欧州主要国の反応につき報告	99
四	138	昭和11年2月13日	五四	在米國斎藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	中立法の修正延長に関する米國上院外交委員會議決について	275
五	319	昭和11年2月14日	四〇	在米國斎藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	日米通商関係の根本的調整に関する意見具申方訓令	599
五	320	昭和11年2月14日	四二	在米國斎藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	對フィリピン綿布輸出規制問題に関する米國側再提案への我が方主張について	600
四	139	昭和11年2月16日	六〇	在米國斎藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	米國大統領による特別汎米會議開催の提議について	275
四	183	昭和11年2月16日	二八	在ハルビン佐藤総領事より 広田外務大臣宛(電報)	ハルビンを除く在滿州国ソ連領事館を閉鎖するので在ソ連滿州国領事館も一館のみ認める旨在ハルビンソ連副領事通報について	352
四	184	昭和11年2月18日	一三二	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	在ハルビンソ連總領事との会談における滿州国外交部次長の発言に対し外務人民委員代理抗議について	353
四	185	昭和11年2月18日	一三四	在ソ連邦大田大使より 広田外務大臣宛(電報)	滿ソ国境確定のための調査に関する我が方提案に対し軍事威嚇下の提案には応じられずと外務人民委員代理拒否について	354
				付記 二月十七日発在ハルビン安藤特務機関長より杉山參謀次長宛電報 滿州国からのソ連領内領事館新設要求に対しソ連は滿州国内領事館の閉鎖により対抗について	352	

四	140	昭和11年3月1日	七八	在米國齋藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	中立法延長に関する米國大統領の裁可と声明について	276
三	37	昭和11年3月3日	二二	在伊國杉村大使より 広田外務大臣宛(電報)	複雑化する欧州政局下における英仏独伊各国の対日態度に関し報告	103
五	321	昭和11年3月3日	七九	在米國齋藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	対フィリピン綿布輸出問題に関する米國側作成メモランダムへの署名の可否および香港續替問題に関する応酬振りについて	601
五	322	昭和11年3月4日	八五	別電 三月三日発在米國齋藤大使より 右米國側作成メモランダム 在米國齋藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	米國の通商政策姿勢および対日輸入規制に関する米國國務長官との応酬振りについて	603
三	38	昭和11年3月7日	四七	在獨國井上臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	獨國政府は仏ソ相互援助条約をロカルノ条約違反と見なし議會にライン地方再軍備を諮るとの見通しについて	605
三	39	昭和11年3月7日	一〇八	付記 三月九日発在獨國大島大使館付陸軍武官より杉山參謀次長宛電報 獨國によるロカルノ条約廢棄に對する關係國の反応に關し獨國國防省の見通しについて	獨國のライン再軍備に關し仏國は軍隊駐屯ではなく要塞再建築を恐れる等仏國外相のレコ・ド・パリ紙記者への内話について	105
三	40	昭和11年3月12日	一二九	在仏國佐藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	獨國によるロカルノ条約廢棄問題に關する仏國政府の対応振りにつき同國外務次官より聴取について	106
				付記 三月十二日付、歐亜局第二課作成 獨國によるロカルノ条約廢棄問題に關する調査		107
三	41	昭和11年3月12日	一三一	在仏國佐藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	日本の新聞に散見される仏ソ相互援助条約を疑問視した記事に關する仏國側対応振りについて	109
四	213	昭和11年3月12日	五三	在マニラ内山總領事より 広田外務大臣宛(電報)	フィリピンにおけるダバオ土地問題解決のための具体的方針について	411
五	323	昭和11年3月12日	六〇	在米國齋藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	対フィリピン綿布輸出問題に関する米國側作成メモランダムへの署名は不要なる旨訓令	606
五	324	昭和11年3月12日	九六	在米國齋藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	対フィリピン綿布輸出問題に關する訓令の趣旨執行に躊躇せざるを得ない旨について	607
五	367	昭和11年3月13日	通一機密 二二	広田外務大臣より 在コルカタ米沢總領事宛	日印会商における我が方の根本主張について	672
三	42	昭和11年3月16日	六三	在獨國井上臨時代理大使より 広田外務大臣宛(電報)	獨國によるロカルノ条約廢棄問題が我が方に及ぼす影響は少ないので嚴正中立を保つべき旨意見具申	116
四	141	昭和11年3月17日	一〇三	在米國齋藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	在米領事會議開催の許可方要請について	276
五	261	昭和11年3月17日	会商四八	付記 決裁日不明、亜米利加局第一課提案高裁案 「在米領事會議開催ニ關スル件」 人絹布輸出統制強化を前提にオーストラリア側説得方および綿布問題は当面静觀する旨について	277	475
五	262	昭和11年3月17日	機密公七九	在シドニー村井總領事より 広田外務大臣宛	綿布と人絹布の關稅および數量制限等に関するオーストラリア通商条約大臣との往復文書送付について	476

三	三	四	四	三	五	五	四	五	三	五	四	五	三	五	三	五	三	五	三	五	三	五	
86	85	142	215	45	328	266	214	193						265	84	327	192	326	264	263	44	43	325
昭和11年4月17日	昭和11年4月16日	昭和11年4月13日	昭和11年4月11日	昭和11年4月10日	昭和11年4月3日	昭和11年4月2日	昭和11年4月2日	昭和11年4月1日						昭和11年3月31日	昭和11年3月27日	昭和11年3月26日	昭和11年3月26日	昭和11年3月25日	昭和11年3月25日	昭和11年3月25日	昭和11年3月21日	昭和11年3月18日	昭和11年3月17日
二一	八七	米三普通 七三	八	一九八	一二〇	会商五二	公機密八五	二六五						会商五一	二九	一一三		一一〇	機密公八九	会商五〇	郵一三	五五	六七
在エチオピア鈴木臨時代理公使宛(電報)	有田外務大臣より 在米國齋藤大使宛(電報)	有田外務大臣より 在米國齋藤大使宛	在ダバオ柴田領事より 有田外務大臣宛(電報)	在仏國佐藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	在シドニー村井總領事宛(電報)	在ブラジル沢田大使より 有田外務大臣宛	在滿州國植田大使より 広田外務大臣宛(電報)						広田外務大臣より 在シドニー村井總領事宛(電報)	在エチオピア鈴木臨時代理公使より 広田外務大臣宛(電報)	在米國齋藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	在本邦ユレネフソ連邦大使 会談	在米國齋藤大使より 広田外務大臣宛(電報)	在シドニー村井總領事より 広田外務大臣宛	在シドニー村井總領事宛(電報)	在ポーランド伊藤公使より 広田外務大臣宛(電報)	広田外務大臣より 在米國齋藤大使宛(電報)	広田外務大臣より 在米國齋藤大使宛(電報)
伊國によりエチオピアが保護国化された場合の我が方対応振りにつき外国通信員へ回答について	伊國によるエチオピア保護国化の場合に対する米國の措置につき通報方訓令	伊國につき調査方訓令	移民法上の「商人」に関する米國政府の詳細な解釈につき調査方訓令	フィリピン大統領によるダバオ土地問題解決案の提示について	本邦の自動車製造事業法および石油業法に関する米下院分科委員会での米國國務長官の発言について	在ハバロフスク滿州國領事館の設置は認めるもさらなるソ連領内への滿州國領事館増設は認めないとのソ連側文書手交について	最近の日本・ブラジル關係につきブラジル大統領との会談について	我が方では綿布の数量制限交渉に應じる意向はないことおよびオーストラリア品への対抗措置の可能性を同国へ説明方訓令	本邦の自動車製造事業法および石油業法に関する米下院分科委員会での米國國務長官の発言について	在ハバロフスク滿州國領事館の設置は認めるもさらなるソ連領内への滿州國領事館増設は認めないとのソ連側文書手交について	最近の日本・ブラジル關係につきブラジル大統領との会談について	我が方では綿布の数量制限交渉に應じる意向はないことおよびオーストラリア品への対抗措置の可能性を同国へ説明方訓令	本邦の自動車製造事業法および石油業法に関する米下院分科委員会での米國國務長官の発言について	在ハバロフスク滿州國領事館の設置は認めるもさらなるソ連領内への滿州國領事館増設は認めないとのソ連側文書手交について	最近の日本・ブラジル關係につきブラジル大統領との会談について	我が方では綿布の数量制限交渉に應じる意向はないことおよびオーストラリア品への対抗措置の可能性を同国へ説明方訓令	本邦の自動車製造事業法および石油業法に関する米下院分科委員会での米國國務長官の発言について	在ハバロフスク滿州國領事館の設置は認めるもさらなるソ連領内への滿州國領事館増設は認めないとのソ連側文書手交について	最近の日本・ブラジル關係につきブラジル大統領との会談について	我が方では綿布の数量制限交渉に應じる意向はないことおよびオーストラリア品への対抗措置の可能性を同国へ説明方訓令	本邦の自動車製造事業法および石油業法に関する米下院分科委員会での米國國務長官の発言について	在ハバロフスク滿州國領事館の設置は認めるもさらなるソ連領内への滿州國領事館増設は認めないとのソ連側文書手交について	最近の日本・ブラジル關係につきブラジル大統領との会談について
210	210	277	415	119	611	489	412	366	488	208	609	363	608	483	482	118	117	607					

三	90	昭和11年5月3日	二三四	有田外務大臣宛(電報)	在米領事會議に対する諮問事項送付について……………212
五	332	昭和11年5月2日	二五	在米田井上大使館商務書記官より 有田外務大臣宛(電報)	対米綿布輸出問題に關し紳士協定により米國政府を支援すべき旨の当地業者見解について……………616
三	46	昭和11年5月2日	八一	有田外務大臣より 在米田井上大使館商務書記官より 有田外務大臣宛(電報)	對米綿布輸出問題に關し紳士協定により米國政府を支援すべき旨の当地業者見解について……………121
四	218	昭和11年5月1日	四一	有田外務大臣より 在米田井上大使館商務書記官より 有田外務大臣宛(電報)	對米綿布輸出問題に關し紳士協定により米國政府を支援すべき旨の当地業者見解について……………420
四	197	昭和11年4月30日	米一機密 二五	有田外務大臣、永野海軍大臣、 島田農林大臣より 廣田内閣總理大臣宛	北洋漁業保護および警備に關する閣議請議……………370
四	143	昭和11年4月30日	九六	有田外務大臣より 在米田井上大使館商務書記官より 有田外務大臣宛(電報)	對米綿布輸出問題に關し紳士協定により米國政府を支援すべき旨の当地業者見解について……………279
三	89	昭和11年4月30日	六九	有田外務大臣より 在米田井上大使館商務書記官より 有田外務大臣宛(電報)	對米綿布輸出問題に關し紳士協定により米國政府を支援すべき旨の当地業者見解について……………212
五	331	昭和11年4月28日	一五一	有田外務大臣より 在米田井上大使館商務書記官より 有田外務大臣宛(電報)	對米綿布輸出問題に關し紳士協定により米國政府を支援すべき旨の当地業者見解について……………615
五	330	昭和11年4月28日	九四	有田外務大臣より 在米田井上大使館商務書記官より 有田外務大臣宛(電報)	對米綿布輸出問題に關し紳士協定により米國政府を支援すべき旨の当地業者見解について……………613
五	329	昭和11年4月27日	一四七	有田外務大臣より 在米田井上大使館商務書記官より 有田外務大臣宛(電報)	對米綿布輸出問題に關し紳士協定により米國政府を支援すべき旨の当地業者見解について……………612
四	196	昭和11年4月27日	一三一	有田外務大臣より 在米田井上大使館商務書記官より 有田外務大臣宛(電報)	對米綿布輸出問題に關し紳士協定により米國政府を支援すべき旨の当地業者見解について……………369
四	195	昭和11年4月23日	三七	有田外務大臣より 在米田井上大使館商務書記官より 有田外務大臣宛(電報)	對米綿布輸出問題に關し紳士協定により米國政府を支援すべき旨の当地業者見解について……………368
三	88	昭和11年4月23日	四六	有田外務大臣より 在米田井上大使館商務書記官より 有田外務大臣宛(電報)	對米綿布輸出問題に關し紳士協定により米國政府を支援すべき旨の当地業者見解について……………211
四	194	昭和11年4月22日	本機密五三	有田外務大臣より 在米田井上大使館商務書記官より 有田外務大臣宛(電報)	對米綿布輸出問題に關し紳士協定により米國政府を支援すべき旨の当地業者見解について……………366
三	87	昭和11年4月22日	合八九	有田外務大臣より 在米田井上大使館商務書記官より 有田外務大臣宛(電報)	對米綿布輸出問題に關し紳士協定により米國政府を支援すべき旨の当地業者見解について……………211
五	368	昭和11年4月21日	一八	有田外務大臣より 在米田井上大使館商務書記官より 有田外務大臣宛(電報)	對米綿布輸出問題に關し紳士協定により米國政府を支援すべき旨の当地業者見解について……………674
四	217	昭和11年4月19日	五一	有田外務大臣より 在米田井上大使館商務書記官より 有田外務大臣宛(電報)	對米綿布輸出問題に關し紳士協定により米國政府を支援すべき旨の当地業者見解について……………419
五	267	昭和11年4月18日	公二六	有田外務大臣より 在米田井上大使館商務書記官より 有田外務大臣宛(電報)	對米綿布輸出問題に關し紳士協定により米國政府を支援すべき旨の当地業者見解について……………490
四	216	昭和11年4月18日	四九	有田外務大臣より 在米田井上大使館商務書記官より 有田外務大臣宛(電報)	對米綿布輸出問題に關し紳士協定により米國政府を支援すべき旨の当地業者見解について……………418

五	333	昭和11年5月4日	一〇一	有田外務大臣より 在米國齋藤大使宛(電報)	対米綿布輸出制限問題に関する我が方讓歩案に基づき交渉方訓令	213
三	91	昭和11年5月5日	二二九	在仏國佐藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	アデイスアベバの争乱は沈静化しつつあり在留民全員が無事である旨在エチオピア臨時代理公使報告	215
三	92	昭和11年5月5日	七六	在伊國杉村大使より 有田外務大臣宛(電報)	伊國軍アデイスアベバ入城後同國政府に対し我が方公使館員および在留民の安否通報ならびに保護につき申入れについて	215
五	334	昭和11年5月5日	一五九	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	対米綿布輸出制限問題に関する我が方讓歩案を米國側は受入れず交渉遷延の余地はない旨について	618
五	335	昭和11年5月6日	一〇六	有田外務大臣より 在米國齋藤大使宛(電報)	来栖大使立寄りに際する米國國務長官等との日米通商問題に関する大局的見地からの会談設定の是非具申方訓令	619
三	93	昭和11年5月7日	三一	有田外務大臣より 在伊國杉村大使宛(電報)	エチオピアにおける我が方通商上の權益尊重および在留邦人保護につき伊國当局へ重ねて要請方訓令	216
三	94	昭和11年5月7日	七九	在伊國杉村大使より 有田外務大臣宛(電報)	エチオピアにおける我が方權益擁護のための対伊國交渉にあつては同權益を具体化し列國の動向も注視すべき旨注意喚起	216
五	336	昭和11年5月7日	一六二	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	来栖大使の米國立寄りに際する米國通商關係要路との会談設定了解について	620
一	4	昭和11年5月8日	三四五	在ソ連邦大田大使より 有田外務大臣宛(電報)	第六十九回議會における主要大臣の演説に關したソ連紙報道振りにについて	16

一	5	昭和11年5月8日	三四七	在ソ連邦大田大使より 有田外務大臣宛(電報)	第六十九回議會における首相および外相の演説中二・二六事件への言及に対するソ連紙の批判的な論調について	27
三	95	昭和11年5月8日	合二〇五	付記 五月六日付 「第六十九回帝國議會ニ於ケル有田外務大臣演説」 在仏國佐藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	アデイスアベバにおける軍事・民政両總督任命に關する伊國側口上書への対応振りにつき在エチオピア臨時代理公使請訓	217
四	219	昭和11年5月8日		有田外務大臣より 在獨國武者小路大使宛(電報)	日獨間の提携について獨國側の意向を突止めるよう訓令	420
三	96	昭和11年5月9日	二三八	付記 七月二十四日付、作成局課不明 「日獨間ニ於ケル政治的協定締結問題」 在仏國佐藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	拒否の場合には日米通商關係に悪影響を与える旨を力説し対米綿布輸出制限問題我が方最終讓歩案を承諾するよう米國側と交渉方訓令	421
五	337	昭和11年5月8日	一一二	別電 五月九日発在仏國佐藤大使より有田外務大臣宛第三三九号 右口上書訳文要約 在米國齋藤大使宛(電報)	アデイスアベバにおける軍事・民政両總督の任命に關する伊國側口上書について	620
四	220	昭和11年5月9日	一一九	在マニラ内山總領事より 有田外務大臣宛(電報)	ダバオ土地問題に対する米國の立場等につき駐フィリピン米國高等弁務官と会談について	218
三	97	昭和11年5月11日	合一二	在仏國佐藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	在アデイスアベバ伊國軍最高司令官を至急往訪したき旨在エチオピア臨時代理公使より伊國側へ要請について	424

四	198	昭和11年5月11日	一五七	有田外務大臣より 在ソ連邦大田大使宛(電報)	北樺太石油会社による試掘に関しては期限到来後五年の作業継続をソ連側に承認させるべく交渉方訓令	371
四	221	昭和11年5月11日	三	在ブラグアイ寺嶋臨時代理公使より 有田外務大臣宛(電報)	日本移民入国許可に関するブラグアイ国大統領令の詳細について	426
一	6	昭和11年5月(11)日	特情紐育 四八	在ニューヨーク井上総領事代理より 有田外務大臣宛(電報)	第六十九回議会における外務大臣演説中対ソ問題に関する部分に注目した米国紙報道振りについて	44
三	98	昭和11年5月12日	九九	有田外務大臣より 在仏国佐藤大使宛(電報)	エチオピア併合に関する伊国勅令要領在本邦伊国大使より手交につき本件通告に対する任国の対応振り確認方訓令	219
三	99	昭和11年5月12日	八七	付記 作成日不明、欧亜局第二課作成 「在京伊太利大使「エチオピア」問題ニ関シ来訪ノ件」	伊国と列強との交渉推移を注視し必要に応じ列強と気脈を通じる等伊国側と緩急自在に交渉すべき旨意見具申	220
二	12	昭和11年5月13日	一〇八	在ジュネーブ木内国際会議事務局長代理兼総領事代理より 有田外務大臣宛(電報)	我が方国際連盟協力費の増額方意見具申	54
五	268	昭和11年5月13日	会商五五	別電 五月十三日発在ジュネーブ木内国際会議事務局長代理兼総領事代理より 有田外務大臣宛第一〇九号 付記 十月十三日付、条約局第三課作成 「帝國ノ國際聯盟協力費増額方ニ關スル件」	オーストラリア政府内事情を調査し対英会商の状況や対日強硬姿勢の背景等に関する観測 通知方訓令	55 490
三	100	昭和11年5月15日	一〇七	在独国武者小路大使より 有田外務大臣宛(電報)	満州国承認に先立つ伊国のエチオピア併合承認は不愉快に思う旨独国外務次官へ説明に付いて	222
四	222	昭和11年5月15日	五	有田外務大臣より 在ブラグアイ寺嶋臨時代理公使宛(電報)	ブラグアイ大統領令による日本移民受入につき我が方解釈確認方訓令	426
五	338	昭和11年5月15日	一二〇	有田外務大臣より 在米國齋藤大使宛(電報)	対米綿布輸出制限に関する米國側提案への我が方対処方針につき訓令	621
五	339	昭和11年5月15日	一二一	有田外務大臣より 在米國齋藤大使宛(電報)	米國側が従来の主張を緩和しない限り今後の対米綿布輸出交渉は成行きに任せるしかないとの認識について	623
五	340	昭和11年5月15日	一八三	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	米國政府側の譲歩も認められるため対米綿布輸出問題に関する日米間協議書案文に同意方訓令	623
四	223	昭和11年5月16日	八	別電 五月十五日発在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛第一八四号 右日米間協議書案文	ブラグアイ大統領令による日本移民受入の条件は一特定入植団体のみに適用されとの同国外務次官発言について	625
四	199	昭和11年5月18日	欧一機密 五三七	在ブラグアイ寺嶋臨時代理公使より 有田外務大臣宛(電報)	我が方軍人ないしは官憲が満州国在住白系露人を反ソ活動に利用しているとのソ連側抗議に対し事実関係調査方訓令	427
四	224	昭和11年5月18日	一三〇	在マニラ内山総領事より 有田外務大臣宛(電報)	ダバオ土地問題に対し確乎たる決心を以って交渉にあたるとの我が方相議会発言に対するフィリピン国内での反響について	429
			別電 五月十八日発在マニラ内山総領事より 有田外務大臣宛第一三一号 右我が方相議会発言に対するフィリピン各紙論評			429

四	225	昭和11年5月18日	公機密 一三五	在ブラジル沢田大使より 有田外務大臣宛	今後の対ブラジル工作方針につき在ブラジル 各公館長へ指示について	430
三	47	昭和11年5月19日	機密三四九	在南京須磨總領事より 有田外務大臣宛	極東訪問中の独国外相より欧州情勢が極東 に及ぼす影響等聴取について	122
三	101	昭和11年5月19日	三三六	在中国若杉臨時代理大使より 有田外務大臣宛(電報)	伊国側よりエチオピア併合記念儀式への参列 を要請された際の我が方政府対応振り回報方 要請	223
五	341	昭和11年5月19日	一二七	有田外務大臣より 在米國齋藤大使宛(電報)	対米綿布輸出問題に関する日米間協議覚書案 文への我が方修正点および輸出統制には米國 の協力が必要である旨について	627
五	342	昭和11年5月19日	二〇二	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	米國側の協力なくしては統制不可能との主張 を取る限り協定成立の見込みない旨について	629
三	102	昭和11年5月20日	公機密七七	在エチオピア鈴木臨時代理公使より 有田外務大臣宛	在エチオピア外交団による伊国占領軍憲への 対応振りおよび在アデイスアベバ伊国軍最高 司令官への非公式訪問について	223
三	103	昭和11年5月21日	一二三	有田外務大臣より 在中国若杉臨時代理大使宛(電報)	伊国によるエチオピア併合問題に対しては我 が方權益擁護を優先し英仏等の対応も注視し つつ方針を決定する意向につき通報	227
四	144	昭和11年5月21日	米二機密 一一七	有田外務大臣より 在米國齋藤大使宛	特別汎米會議の議題としてペルー政府より提 出された国籍問題についての事情調査および 成行き監視方訓令	283
五	343	昭和11年5月21日	二二二	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	東京との電話連絡に基づき交渉継続の余地な き旨米國側へ通知について	631
付記 作成日、作成局誤不明 「日本晒綿布對米輸出統制ニ關スル件」						632

五	344	昭和11年5月21日	二二三	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	米國大統領の綿布関税引上げ命令発出につい て	634
四	226	昭和11年5月25日	一三七	在マニラ内山總領事より 有田外務大臣宛(電報)	經濟提携およびダバオ土地問題に関するフィ リピン大統領の内話について	433
五	269	昭和11年5月27日	四〇九	有田外務大臣より 在滿州國植田大使宛(電報)	滿州國においてもオーストラリア産小麦およ び小麦粉の輸入許可制度採用方申入れにつ き訓令	491
三	104	昭和11年5月28日	三〇六	在英國藤井臨時代理大使より 有田外務大臣宛(電報)	伊国によるエチオピア併合問題および在内地 公使館存続問題に対する英國側対応につき英 国外務省エチオピア部長より聴取について	228
四	145	昭和11年5月28日	普通公 三九一	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛	移民法上の「商人」の解釈につき政府の一定 基準を明示することは甚だ困難との米國労働 省当局者の見解について	284
四	200	昭和11年5月28日	四六九	在滿州國植田大使より 有田外務大臣宛(電報)	在ソ連滿州國領事館増設問題ならびに紛争処 理および國境確定問題に関する滿州國外交部 解決方針について	379
五	270	昭和11年5月28日	四八	在ケープタウン太田領事より 有田外務大臣宛(電報)	一定量の羊毛買付を条件に南アフリカとの通 商交渉を行うことが得策につき対オーストラ リア報復方針回電方要請について	492
五	369	昭和11年5月28日	三〇七	在英國藤井臨時代理大使より 有田外務大臣宛(電報)	英國政府より日印会商の開催同意方通知につ いて	675
別電 五月二十八日発在英國藤井臨時代理大使より有田外務大臣宛第三〇八号 右通知文						676
有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)					通商擁護法発動やむなき旨オーストラリア側 へ通知方訓令	492

五	272	昭和11年6月1日	機密公 一九二	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛	オーストラリア側の態度豹変の背景には国防問題があるとの観測および対オーストラリア貿易は国営とすべき旨意見具申 我が方権益擁護のため関係諸国と協調しつつ門戸開放論により伊国と交渉すべき旨在エチオピア臨時代理公使意見具申	494
三	105	昭和11年6月2日	合二二八	在仏国佐藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	織物関税引上げに関する抗議および通商擁護法発動やむなき旨のオーストラリア通商条約大臣宛書簡写し送付について	228
五	273	昭和11年6月2日	機密公 二〇〇	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛	日印会商民間派遣員決定について	498
五	370	昭和11年6月2日	四三	有田外務大臣より 在コルカタ米沢総領事宛(電報)	羊毛買付に関する対南アフリカ交渉は差控え情勢の推移を見るべき旨訓令 意思懸隔なきよう民間派遣員へ我が方根本方針徹底方要請について	677
五	274	昭和11年6月3日	二六	有田外務大臣より 在ケープタウン太田領事宛(電報)	伊国軍の侵攻にともなう我が方損害は関係諸国中極めて少ない方との在エチオピア臨時代理公使調査結果について	501
五	371	昭和11年6月3日	九四	在コルカタ米沢総領事より 有田外務大臣宛(電報)	我が方抗議文書に対するオーストラリア通商条約大臣よりの回答文写し送付について	677
三	106	昭和11年6月4日	合一三四	在仏国佐藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	伊国軍憲による外交使節を無視した対応および治外法権無視の司法制度公布への対処につき在エチオピア臨時代理公使訓令	229
五	275	昭和11年6月6日	機密公 二〇三	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛	我が方抗議文書に対するオーストラリア通商条約大臣よりの回答文写し送付について	502
三	107	昭和11年6月8日	合一三三	在仏国佐藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	満州国において白系露人が反ソ活動に利用されているとの嫌疑は事実無根の旨同国外交部および関東軍回答について	229

四	201	昭和11年6月8日	公機密 九四四	在満州国植田大使より 有田外務大臣宛	満州国において白系露人が反ソ活動に利用されているとの嫌疑は事実無根の旨同国外交部および関東軍回答について	380
三	108	昭和11年6月9日	郵七	在伊国杉村大使より 有田外務大臣宛(電報)	伊国によるエチオピア併合承認問題に関する連盟総会討議につき在伊アルゼンチン大使と意見交換について	382
二	13	昭和11年6月10日	一三三	在ジュネーブ木内国際会議事務局長代理兼総領事代理より 有田外務大臣宛(電報)	常設国際司法裁判官選挙への非連盟国参加問題に対する我が方意見連盟事務総長より照会について	230
三	372	昭和11年6月11日	公機密 一〇九	付記 作成日不明、条約局第三課作成 「非聯盟国ノ常設国際司法裁判官選挙参加問題」	エチオピアにおける我が方権益をめぐる対伊交渉の参考として同権益の詳細につき報告	61
五	372	昭和11年6月11日	普通一六五	在バタビア石沢総領事より 有田外務大臣宛	オランダ・蘭印間経済提携に関する四方方針について	231
三	48	昭和11年6月12日	一二六	有田外務大臣より 在仏国佐藤大使宛(電報)	海峽制度条約改訂会議に対する我が方方針訓令	678
三	49	昭和11年6月12日	特三六	在トルコ徳川大使より 有田外務大臣宛(電報)	海峽制度条約改訂会議に対するトルコ側提案主要事項覚書を同国外務次官より受領について	123
				別電一 六月十二日発在トルコ徳川大使より有田外務大臣宛特第三七号 右覚書		124
				二 六月十二日発在トルコ徳川大使より有田外務大臣宛特第三八号 右覚書に関する同次官からの説明大要		125
						126

四	153	昭和11年6月26日	三三八	有田外務大臣宛(電報)	ダバオ土地問題の最終的解決は米比通商會議における米国の政策を見極めるまで延引すとのフィリピン大統領の心算について	441
五	373	昭和11年6月25日	一〇八	在英吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)	関税引上げ措置等への抗議に対するオーストラリア側回答に関する我が方の意向について	507
二	14	昭和11年6月25日	六四	有田外務大臣より 在ジュネーブ木内国際会議事務局長代理兼総領事代理宛(電報)	我が方はあくまで通商擁護法発動という既定方針で進む旨オーストラリア側に通知方訓令	508
四	202	昭和11年6月24日	六三	在アフガニスタン北田公使より 有田外務大臣宛(電報)	特別汎米會議は米大統領の善隣政策の一つと見るべきであり当面は静観の態度をとる旨報告について	298
三	111	昭和11年6月24日	郵一一	在伊国杉村大使より 有田外務大臣宛(電報)	連盟におけるエチオピア問題討議および我が方対エチオピア貿易の将来等に関し伊国側と意見交換について	236
四	147	昭和11年6月23日	二六四	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	ソ連の内情は各地方とも不安定であり東シベリアへの増派も補給困難に陥り内部不安を増すとのアフガニスタン首相の観測について	383
五	277	昭和11年6月22日	会商六四	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	常設国際司法裁判所裁判官選挙への非連盟国参加問題に対する我が方意見連盟事務総長へ回答方訓令	64
五	348	昭和11年6月21日	二五六	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	インド政府より日印会商開催同意の旨通知について	680
五	276	昭和11年6月18日	会商六二	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	英国国王へ信任状およびリース・ロス派遣に関する前国王親書への天皇答翰奉呈について	306
四	230	昭和11年6月18日	一六四	在マニラ内山総領事より 有田外務大臣宛(電報)		

四	229	昭和11年6月18日	六一	有田外務大臣より 在ブラジル沢田大使宛(電報)	ブラジル議會に提出された移民法修正案は排日的傾向が強いとの我が方新聞の過剰報道抑制について	440
四	228	昭和11年6月17日	一六二	在マニラ内山総領事より 有田外務大臣宛(電報)	ダバオ土地問題は左程憂慮すべき問題にあらずとするフィリピン大統領教書の要点について	439
三	110	昭和11年6月17日	六三	有田外務大臣宛(電報)	エチオピアへの赴任途上伊国側より新たな外交官の入国は認められないとして入国拒絶について	235
四	146	昭和11年6月16日	機密公 四〇三	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛	在米領事會議諮問事項に対する答申の送付について	286
五	347	昭和11年6月15日	七〇	有田外務大臣宛(電報)	自動車製造業法をめぐるセイヤー國務次官補との応酬振りについて	640
四	227	昭和11年6月15日	機密一二七	在伊国杉村大使より 有田外務大臣宛	伊国新外相就任以後の同国外交政策に関する観測について	435
五	346	昭和11年6月13日	二四五	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	日米通商委員會の趣旨等に関する米側との會談について	638
五	345	昭和11年6月12日	二四〇	有田外務大臣宛(電報)	日米通商問題に関する米栖大使と米國國務長官等との會談概要について	634
				付記 作成日不明、通商局第三課作成 「對米通商交渉方針案」		636
				別電 六月十五日発在ニューヨーク井上総領事代理より有田外務大臣宛第七一 各事業法による外国資本排除を緩和させることが得策である旨米栖大使の意見具申		640

三	51	昭和11年7月10日	峡五九	有田外務大臣宛(電報)	モントルー海峽制度条約改訂会議全権より	136
五	280	昭和11年7月7日	会商七一	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	海峽制度条約改訂会議においてソ連が提出した修正案に対し我が方および英国側より反対表明について	511
二	15	昭和11年7月7日	一五九	理兼総領事代理より 有田外務大臣宛(電報)	本邦品のみに対する輸入許可制実施は控え交渉再開することが事態收拾の唯一の方法である旨オーストラリア側へ口頭説明方訓令	65
五	349	昭和11年7月6日	二八二	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	米國綿業有力者訪日に関する我が方商務官と米國綿業協会会長との会談について	643
五	279	昭和11年7月4日	三七四	在英國吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)	連盟法律家委員会が提議する常設国際司法裁判所裁判官選挙への非連盟国参加規則案について	510
四	235	昭和11年7月4日	六一	有田外務大臣より 在ペルー村上公使宛(電報)	米國の対オーストラリアおよび対アルゼンチン通商交渉に関する報告について	509
三	50	昭和11年7月4日	峡八	有田外務大臣より モントルー海峽制度条約改訂会議全権宛(電報)	ペルーの排日的大統領令は正当なものではない旨抗議すると共に我が方有利な実質的妥結に導くよう工作方訓令	446
				付記 七月十一日付、条約局第三課作成 「海峽條約ノ改訂ト國際聯盟援用問題」	海峽制度条約改訂会議においては英およびトルコによる修正案中の連盟機能援用条項を削除方提議すべき旨訓令	127
					除方提議すべき旨訓令	128

七月

五	278	昭和11年6月30日	会商六九	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	交渉遷延の場合我が方は原料國策を確立するにつき早期妥結が有利なる旨オーストラリア側へ申入れ方訓令	509
四	234	昭和11年6月30日	一二五	有田外務大臣宛(電報)	適正な移民法案に修正されるようブラジル外相に我が方意見書提出について	444
四	233	昭和11年6月30日	五九	有田外務大臣より 在ペルー村上公使宛(電報)	後策協議申入れ方訓令	443
四	232	昭和11年6月28日	九五	在ペルー村上公使より 有田外務大臣宛(電報)	在留外國人数制限の趣旨等をペルー外相に確認したき旨請訓	443
四	231	昭和11年6月28日	九三	有田外務大臣宛(電報)	在留外國人数および就労者割合を制限するとのペルー大統領令発布について	442
三	113	昭和11年6月27日	四八	有田外務大臣より 在伊國杉村大使宛(電報)	伊國によるエチオピア併合承認問題に対しては連盟諸國の動向を注視しつつ同諸國より一歩先んじて承認することが望ましい旨通報	238
三	112	昭和11年6月27日	四八	有田外務大臣より 在伊國杉村大使宛(電報)	在エチオピア公使館館務は差当たり同館書記生をして担当させる旨通報	238
				二 右天皇答翰英訳文		308
				付記一 五月十六日付松平宮内大臣より有田外務大臣宛公信宮発第二四二号		307
				右天皇答翰について		

三	52	昭和11年7月11日	峽六一	別電 七月十日発モントルー海峡制度条約改訂会議全権より有田外務大臣宛峽第六〇号 右修正案 モントルー海峡制度条約改訂会議全権 有田外務大臣宛(電報) 別電 七月十一日発モントルー海峡制度条約改訂会議全権より有田外務大臣宛峽第六二号 右留保案	138
四	236	昭和11年7月12日	一一〇	在ベルー村上公使より 有田外務大臣宛(電報)	447
五	350	昭和11年7月13日	二八九	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	645
三	53	昭和11年7月15日	峽七八	モントルー海峡制度条約改訂会議全権より 有田外務大臣宛(電報)	140
三	54	昭和11年7月16日	峽八四	モントルー海峡制度条約改訂会議全権より 有田外務大臣宛(電報)	141
四	154	昭和11年7月16日	三九五	在英國吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)	309
四	237	昭和11年7月16日	合八三	在伊國杉村大使より 有田外務大臣宛(電報)	448
三	55	昭和11年7月17日	峽二一	有田外務大臣より モントルー海峡制度条約改訂会議全権宛(電報)	142

別電 七月十日発モントルー海峡制度条約改訂会議全権より有田外務大臣宛峽第六〇号
右修正案
モントルー海峡制度条約改訂会議に提出されたソ連修正案は多数国の支持を得我が方への影響も少ないので留保付で承諾すべき旨意見具申
排日的ペルー大統領令に対する抗議状況について
日米通商委員会のあり方につき米國側と意見交換について
海峡制度条約改訂問題に關し英國側より提示された妥協案に賛成したき旨意見具申
海峡制度条約改訂問題に關する仏國側修正案には我が方意向に反する点が認められるも修正は困難につき受入れ方請訓
日英接近が実現しない原因につき英國海相(前外相)と意見交換について
伊國は次回オリンピック大会のローマ開催立候補を棄権し東京市に投票する予定との同國オリンピック代表の内話について
海峡制度条約改訂問題に關する仏國修正案には不満な点も認められるが大局的見地より一般的留保を付して調印方訓令

付記 七月十六日付、欧亜局第一課および条約局第三課作成閣議議案

「海峡制度ニ關スル新條約ニ署名ノ件」

四	155	昭和11年7月17日	三九九	在英國吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)	310
四	203	昭和11年7月17日	五〇七	在ソ連邦大田大使より 有田外務大臣宛(電報)	383
五	351	昭和11年7月17日	二九四	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	646
五	374	昭和11年7月17日	一二九	在コルカタ米沢総領事より 有田外務大臣宛(電報)	680
五	375	昭和11年7月18日	五八	有田外務大臣より 在コルカタ米沢総領事宛(電報)	681
三	56	昭和11年7月20日	一五二	別電 七月十八日発有田外務大臣より在コルカタ米沢総領事宛第五九号 右具体案	682
四	148	昭和11年7月20日	米三普通 一六一	有田外務大臣より 在米國齋藤大使宛	299
四	156	昭和11年7月20日	四〇三	在英國吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)	311
四	238	昭和11年7月20日	一六七	在獨國武者小路大使より 有田外務大臣宛(電報)	448

極左革命が起こる可能性も含め仏國今後の政局に關する見通しにつき調査方訓令
移民法上の「商人」が一時帰國後再入米する際に必要な資格証明書の下付手続き等について調査方訓令
滿州國による貿易取極不履行に不満を抱く英國産業連盟の面子を立てるため契約履行方意見具申
獨國は次回オリンピックの東京開催を全面的に援助する意向とのベルリンオリンピック大會組織委員會議長の内話について

四	160	昭和11年8月1日	四四八	有田外務大臣宛(電報)	スペインにおける内乱の現況および関係諸国の対応振りにつき叛乱軍消息通よりの情報について	240
四	159	昭和11年8月1日	四四五	在英國吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)	日英関係および英独関係に関する英國国内の見方について	314
三	114	昭和11年8月1日	七三	在スペイン矢野公使より 有田外務大臣宛(電報)	日英親善のため具体的な「スキーム」が必要との提案に対する英國外相の反応について	316
八月						
五	381	昭和11年7月30日	一四八	在コルカタ米沢総領事より 有田外務大臣宛(電報)	スパン太石油会社関係商議においては労働者比率問題での妥協により試掘に関する要望を先方に受諾させるよう意見具申	384
四	380	昭和11年7月28日	五四〇	在ソ連邦酒匂臨時代理大使より 有田外務大臣宛(電報)	訪日ブラジル経済使節団の構成および派遣経緯について	687
五	352	昭和11年7月30日	三〇四	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	今期米國議會における移民法關係法案の審議実績について	302
四	150	昭和11年7月30日	機密公 五一二	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛	協定廃棄を避けるため対フィリピン輸出綿布香港積替問題を現実的方法で解決したいとの米國側申出について	648
五	381	昭和11年7月30日	一四八	在コルカタ米沢総領事より 有田外務大臣宛(電報)	日印会商第三回合要領報告について	696
五	352	昭和11年7月30日	三〇四	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	七月三十日発在コルカタ米沢総領事より有田外務大臣宛第一四九号	697
五	381	昭和11年7月30日	一四八	在コルカタ米沢総領事より 有田外務大臣宛(電報)	日本・インド間貿易バランス等に関するインド側への説明要領	698
五	381	昭和11年7月30日	一四八	在コルカタ米沢総領事より 有田外務大臣宛(電報)	七月三十日発在コルカタ米沢総領事より有田外務大臣宛第一五〇号	698
五	381	昭和11年7月30日	一四八	在コルカタ米沢総領事より 有田外務大臣宛(電報)	新協定に関するインド側の具体的提案について	698

四	239	昭和11年7月20日	一一四	在ペルー村上公使より 有田外務大臣宛(電報)	我が方抗議により排日的ペルー大統領令改正交渉に多少の進展があったとの報告について	449
五	376	昭和11年7月21日	六三	有田外務大臣より 在コルカタ米沢総領事宛(電報)	我が方具体案の修正および民間派遣員による同案国内通報なきよう注意方訓令	683
四	157	昭和11年7月22日	四一一	在英國吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)	英國産業連盟の満州国での貿易取極履行に関する進言を満鉄總裁へ転報方要請	312
四	149	昭和11年7月23日	普通公 五〇六	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛	右進言	313
五	377	昭和11年7月23日	一三八	在コルカタ米沢総領事より 有田外務大臣宛(電報)	日印会商第二回合要領報告について	684
五	378	昭和11年7月23日	一四〇	在コルカタ米沢総領事より 有田外務大臣宛(電報)	右合合におけるインド側意見について	685
四	158	昭和11年7月25日	四二五	在英國吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)	雜貨問題に関する応酬振りについて	686
五	379	昭和11年7月27日	六八	有田外務大臣より 在コルカタ米沢総領事宛(電報)	親日的保守党有力者による対日關係改善の試みにつき注意喚起	313
三	57	昭和11年7月28日	三五四	在仏國三谷臨時代理大使より 有田外務大臣宛(電報)	雜貨問題等に関する対処方針について	686
三	57	昭和11年7月28日	三五四	在仏國三谷臨時代理大使より 有田外務大臣宛(電報)	仏國において社会党等の与党が選挙で大勝したが急激な社会的変化の可能性は低いとの観測について	144

四	161	昭和11年8月1日	四四九	在英国吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)	新在中国英国大使の赴任に際しての来訪につ いて	317
五	382	昭和11年8月1日	一五六	在コルカタ米沢総領事より 有田外務大臣宛(電報)	インド側提案への弁駁案について	699
三	115	昭和11年8月3日	三七九	在仏国佐藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	在スペイン公使の仏国方面への避難およびマ ドリッド残留中の公使館員退去方法考慮につ き意見具申	241
三	58	昭和11年8月4日	館長符号	有田外務大臣より 在オランダ武富公使宛(電報)	帰朝に先立ち欧州政局全般に関し調査方訓令	145
五	383	昭和11年8月4日	七〇	有田外務大臣より 在コルカタ米沢総領事宛(電報)	インド側提案に対する対処方針について	701
三	116	昭和11年8月5日	合六一八	有田外務大臣より 在スペイン矢野公使、在スペイン高岡 公使館二等書記官、在仏国佐藤大使宛 (電報)	在スペイン公使の仏国方面への避難およびマ ドリッド残留公使館員の引揚方訓令	241
五	384	昭和11年8月5日	七二	有田外務大臣より 在コルカタ米沢総領事宛(電報)	インド側提案への反駁論の追補について	702
四	162	昭和11年8月6日	一五八	有田外務大臣より 在英国吉田大使宛(電報)	日英両国の関係改善に向けた動きに関する新 聞報道について	318
三	117	昭和11年8月7日	一七九	有田外務大臣より 在仏国佐藤大使宛(電報)	在スペイン公使館における叛乱関与スペイン 人の庇護は一切避けるべき旨訓令	242

四	163	昭和11年8月7日	四六〇	在英国吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)	満州国が英国産業連盟との貿易取極を履行す るよう尽力を求めるバーンビーよりの書簡に ついて	319
四	164	昭和11年8月8日	四六二	在英国吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)	日英協調に関する新聞報道の真相と英国側の 反応について	319
三	118	昭和11年8月10日	一八四	有田外務大臣より 在仏国佐藤大使宛(電報)	民兵等による在スペイン公使館強制捜査は致 し方なく強いてこれを拒否する必要なき旨訓 令	242
四	205	昭和11年8月10日	五七四	在ソ連邦酒勾臨時代理大使より 有田外務大臣宛(電報)	北樺太石油会社とソ連重工業人民委員部との 交渉は頓挫の危険があるため好意的斡旋方外 務人民委員代理へ申入れについて	385
五	353	昭和11年8月13日	三一七	在米国斎藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	米国側より綿業視察団の訪日打診について	650
五	354	昭和11年8月13日	三一八	在米国斎藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	選挙対策上日本側の輸出調整に関する言質を 得たいとの米国側申出について	651
三	119	昭和11年8月15日	機密号外一	在スペイン矢野公使より 有田外務大臣宛	サンセバスティアン方面の戦闘状況に鑑み仏 国方面へ一時避難につき報告	243
四	206	昭和11年8月15日	二七七	有田外務大臣より 在ソ連邦酒勾臨時代理大使宛(電報)	北樺太石油会社による商議に関し我が方は労 働者比率問題に関する要望を撤回する旨ソ連 側へ通報方訓令	387
二	16	昭和11年8月17日	一七二	在ジュネーブ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より 有田外務大臣宛(電報)	我が方事務局の名称変更の必要性について	66
四	207	昭和11年8月17日	五九四	在ソ連邦酒勾臨時代理大使より 有田外務大臣宛(電報)	北樺太石油会社の商議に際し労働者比率問題 につき妥協したので速に試掘三問題の詮議を 望む旨重工業人民委員代理へ申入れについて	388

四	208	昭和11年8月19日	五九九	在ソ連邦酒匂臨時代理大使より 有田外務大臣宛(電報)	北樺太石油会社提出の覚書は我が方精一杯の妥協案であるので閣議審議の際には好意的配慮方ソ連外務人民委員へ申入れについて 仏国が欧州関係諸国に対しスペイン内乱への不干渉を提案した旨同国外務省政務通商局長説明について	388
三	120	昭和11年8月20日	四一五	在仏国佐藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	ブラジル経済使節団来日に際し開催する日伯通商問題協議会の打合せについて	246
五	385	昭和11年8月20日	通二普通合 三一八六	堀内外務次官より 吉野商工次官、入江拓務次官、 川越大蔵次官他宛		713
三	121	昭和11年8月25日	関機高外 三二三六	東条閣東局警務部長より 堀内外務次官他宛	「伯刺西爾經濟使節團來朝ニ關聯セル日伯通商促進措置ニ關スル件」 スペイン内乱に対する白系露人をはじめとする在滿州諸外国人の反応について アマゾナス州への日本人入植計画は国防の見地より不許可とのブラジル連邦国防委員会決定について	714
四	240	昭和11年8月25日	一七二	在ブラジル沢田大使より 有田外務大臣宛(電報)		247
五	281	昭和11年8月25日	会商二一九	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛(電報)	交渉再開に関するオーストラリア通商条約大臣よりの申入れについて	450
五	282	昭和11年8月25日	会商二二一	別 電 八月二十五日発在シドニー村井総領事より有田外務大臣宛会商第二二〇号 右申入れ	交渉再開に應じる旨のオーストラリア通商条約大臣への回答要領について マドリードは無政府状態との報道に対し同地の実情ならびにスペイン政府の現状および同政府との接触の可否等回電方訓令 我が方綿業者は米国綿業視察団来日を歓迎する旨国務省へ回答方訓令	512
三	122	昭和11年8月29日	二〇〇	有田外務大臣より 在仏国佐藤大使宛(電報)		513
五	355	昭和11年8月29日	二〇二	有田外務大臣より 在米国斎藤大使宛(電報)		252
五	283	昭和11年8月31日	会商七九	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	オーストラリア側との応酬に際しての留意事項について	513
九月						
三	123	昭和11年9月2日	八五	在スペイン矢野公使より 有田外務大臣宛(電報)		515
三	124	昭和11年9月2日	合二一五	在仏国佐藤大使より 有田外務大臣宛(電報)		252
五	284	昭和11年9月3日	会商二二八	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛(電報)	外交団会議において人道問題等外交団全てが関与せざるを得ない問題が浮上した際の我が方対応振りにつき請訓 非戦闘員の虐殺等阻止のため政府および叛乱軍と交渉すべきとの外交団の動きには参加すべきではない旨在スペイン公使館員意見具申 織物の輸出数量および関税に関するオーストラリア側提案について 織物問題に関する会談中に得た印象およびオーストラリア側意見について	252
五	285	昭和11年9月3日	会商二二九	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛(電報)		516
五	356	昭和11年9月3日	二〇四	別 電 九月四日発在シドニー村井総領事より有田外務大臣宛会商第二三〇号 我が方対案作成にあたって配慮すべき事情および対オーストラリア通商問題解決案に関する意見具申	我が方が希望するワシントンでの日米通商委員会速やかな設立につきセイヤー國務次官補の意向探索方訓令 米国側に対する最後の「ジェスチャー」として香港向けも綿布輸出統制に加える旨通報	517
五	357	昭和11年9月4日	二〇六	有田外務大臣より 在米国斎藤大使宛(電報)		519

三	125	昭和11年9月6日	九三	在スペイン矢野公使より 有田外務大臣宛(電報)	在スペイン各国外交団より内乱の今後の展開 見通し聴取について	654
五	358	昭和11年9月6日	三四二	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	香港向け輸出統制措置をめぐる米國側との会 談について	655
五	286	昭和11年9月8日	会商八五	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	交渉の先決問題は綿布・人絹布関税の旧税率 への復帰である旨オーストラリア側へ通告方 訓令	521
五	287	昭和11年9月8日	機密三五一	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛	九月二日付オーストラリア側提案各項目に関 する同國通商条約大臣との応酬振りについて	522
五	288	昭和11年9月9日	会商二三五	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛(電報)	交渉進捗のためには我が方において羊毛・小 麦の輸入保証額を提示することが得策である 旨意見具申	529
三	59	昭和11年9月11日	機密二〇六	在伊國杉村大使より 有田外務大臣宛	スペイン内乱を契機とする欧州諸國間の対立 につき分析調査報告	146
三	126	昭和11年9月11日	二一五	有田外務大臣より 在仏國佐藤大使宛(電報)	在本邦スペイン公使より叛乱軍政府を支持す る旨の声明文手交について	254
二	17	昭和11年9月12日	一八二	付記 八月二十六日、在本邦スペイン公使より外務次官へ手交 右声明文	我が方よりの羊毛・小麦輸入保証量提示に慎 重であるべき理由について	254
五	289	昭和11年9月11日	会商八六	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	連盟法律家委員会提議の規則案による常設國 際司法裁判所裁判官選挙への我が方参加意向 連盟事務総長より照会について	530
五	290	昭和11年9月15日	機三七九	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛	オーストラリア側提案に対する九月十四日付 我が方回答文送付について	531
五	291	昭和11年9月15日	機密三八〇	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛	通商紛争に対するオーストラリア世論の動向 および原料国策等の観点からこの際交渉妥結 を図ることが得策である旨意見具申	536
二	18	昭和11年9月16日	八三	有田外務大臣より 在ジュネーブ横山國際會議事務局長代 理兼総領事宛(電報)	連盟法律家委員会規則案の採択を前提とした 常設國際司法裁判所裁判官選挙参加照会には 回答し得ない旨連盟事務総長へ申入れ方訓令	67
三	60	昭和11年9月16日	二二四	在獨國武者小路大使より 有田外務大臣宛(電報)	ニュルンベルグにおける獨國粹社会党大会 に際し赤化防止問題に関する議論について	158
三	127	昭和11年9月16日	合三三七	在仏國佐藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	新ソ連大使着任以来スペイン國內新聞にはソ 連關係記事および我が國への批判的記事が増 加している旨在スペイン公使館員報告	255
五	292	昭和11年9月16日	会商二四一	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛(電報)	事態打開のため羊毛等の輸入保証額の明示再 考方意見具申	540
五	359	昭和11年9月16日	三五五	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	日米通商委員會の名称および構成員について	657
五	293	昭和11年9月18日	会商八七	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	我が方提案はオーストラリア側提案を十分検 討した上でのものであり再考の余地はない旨 至急通告方訓令	541
三	61	昭和11年9月21日	五二六	在英國吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)	英ソ接近問題の実情に關し在ラトビア臨時代 理公使の見解照会について	160
三	128	昭和11年9月21日	機密号外 一一	在スペイン矢野公使より 有田外務大臣宛	仏國在住駐スペイン外交団にはマドリッド在 住外交団と同等の權利を認めないとのスペイ ン政府通知について	256

別電 九月四日発有田外務大臣より在米國齋藤大使宛第二〇七号
香港向け綿布輸出統制方法について

オーストラリア側提案に対する九月十四日付
我が方回答文送付について
通商紛争に対するオーストラリア世論の動向
および原料国策等の観点からこの際交渉妥結
を図ることが得策である旨意見具申
連盟法律家委員会規則案の採択を前提とした
常設國際司法裁判所裁判官選挙参加照会には
回答し得ない旨連盟事務総長へ申入れ方訓令
ニュルンベルグにおける獨國粹社会党大会
に際し赤化防止問題に関する議論について
新ソ連大使着任以来スペイン國內新聞にはソ
連關係記事および我が國への批判的記事が増
加している旨在スペイン公使館員報告
事態打開のため羊毛等の輸入保証額の明示再
考方意見具申
日米通商委員會の名称および構成員について
我が方提案はオーストラリア側提案を十分検
討した上でのものであり再考の余地はない旨
至急通告方訓令
英ソ接近問題の実情に關し在ラトビア臨時代
理公使の見解照会について
仏國在住駐スペイン外交団にはマドリッド在
住外交団と同等の權利を認めないとのスペイ
ン政府通知について

四	245	昭和11年10月5日	八八	有田外務大臣より 在マニラ内山総領事宛(電報)	458
三	131	昭和11年10月5日	合二七三	在仏国佐藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	259
三	130	昭和11年10月5日	二三八	有田外務大臣より 在仏国佐藤大使宛(電報)	259
二	22	昭和11年10月5日	機密本公 六三五	在ジュネーブ横山国際会議事務局局長代 理兼総領事より 有田外務大臣宛	70
二	21	昭和11年10月5日	二〇五	有田外務大臣宛(電報)	69
二	20	昭和11年10月5日	二〇四	在ジュネーブ横山国際会議事務局局長代 理兼総領事より 有田外務大臣宛(電報)	69
四	244	昭和11年10月3日	二七八	在マニラ内山総領事より 有田外務大臣宛(電報)	455
四	243	昭和11年10月2日	二七六	在マニラ内山総領事より 有田外務大臣宛(電報)	454
四	242	昭和11年10月2日	一〇一	有田外務大臣より 在ブラジル沢田大使宛(電報)	453
三	64	昭和11年10月1日	五三八	在英国吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)	164
欧州国際情勢は独国の動向を中心に推移しつ つあり英ソ間に新たに緊密な関係が生じつ あるとは思われないとの観測について 訪日中のブラジル経済使節団団長に対し我が 方首相および外相より同国移民問題の早期改 善に尽力方要請について フィリピン議会における外国人入国取締法案 提出の情報および同案概要につき通報 外国人入国取締法案の議会提出につきフィリ ピン政府高官より事情聴取について 有田外務大臣宛第二七九号 連盟総会および理事会で行われる常設国際司 法裁判所裁判官選挙への我が方参加意向連盟 事務総長より照会について 連盟総会において英国代表から原料取引の公 平・機会均等問題検討のための委員会設置決 議案提出について 委任統治委員会報告における連盟脱退国とシ リア・レバノン等との通商協定に関する部分 について 在スペイン我が方公使館は引揚げが望ましく 再応考慮方訓令 各国公使館の多くがスペイン人を保護して いる状況につき在スペイン公使館員報告 フィリピン議会に提出された外国人入国取締 法案成立阻止のための工作方訓令					457

四	165	昭和11年9月21日	五二七	在英国吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)	320
三	62	昭和11年9月23日	二四	在ラトビア佐久間臨時代理公使より 有田外務大臣宛(電報)	160
四	241	昭和11年9月23日	一五五	在伊国杉村大使より 有田外務大臣宛(電報)	451
三	63	昭和11年9月24日	機密二八〇	在ベルギー来栖大使より 有田外務大臣宛	161
二	19	昭和11年9月25日	一九〇	在ジュネーブ横山国際会議事務局局長代 理兼総領事より 有田外務大臣宛(電報)	67
三	129	昭和11年9月29日	合二五六	在仏国佐藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	258
五	360	昭和11年9月29日	三七九	在米國齋藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	657
一般市民への殺戮増加の現状に鑑み我が方公 使館に保護を申出る者に対しては同情的態度 をとるべき旨在スペイン公使館員意見申 協定輸出限度超過分の翌年度控除問題を米國 側は再度提起しないとの観測について 九月二十五日発在ジュネーブ横山国際会議事務局局長代理兼総領事より有田 外務大臣宛第一九一号 右決議要旨 連盟法律家委員会提議の常設国際司法裁判所 裁判官選挙への非連盟国参加規則案に対し連 盟理事会が大幅修正決議採択について 伊国のソ連・独国・日本との関係につき同国 外相内話について 仏国の動静ならびにルーマニア外相の失脚事 情およびベルギーの中立政策等欧州政情に関 し各方面より情報蒐集について 連盟法律家委員会提議の常設国際司法裁判所 裁判官選挙への非連盟国参加規則案に対し連 盟理事会が大幅修正決議採択について					68

三	65	昭和11年10月6日	機密二二七	在伊国杉村大使より 有田外務大臣宛	欧州諸国の対立を思想的対立ととらえず現実的な利害関係および国民的な感情的対立としてとらえる必要性につき分析報告 新たに設立された仏国「日仏議員団」議長との会談について	166
四	246	昭和11年10月6日	五一七	在仏国佐藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	連盟総会および理事会で行われる常設国際司法裁判所裁判官選挙に我が方も参加する旨連盟事務総長へ回答方訓令	458
二	23	昭和11年10月7日	八六	在ジュネーブ横山国際会議事務局局長代理兼総領事宛(電報)	「常設国際司法裁判所判事選挙ニ参加方ノ件」	71
二	24	昭和11年10月10日	二二六	在ジュネーブ横山国際会議事務局局長代理兼総領事より 有田外務大臣宛(電報)	連盟総会における原料取引の公平・機会均等問題検討のための委員会設置決議採択について	72
四	209	昭和11年10月10日	七五三	在ソ連邦酒匂臨時代理大使より 有田外務大臣宛(電報)	石油利権追加協定の調印について	73
四	166	昭和11年10月14日	二二八	有田外務大臣より 在英国吉田大使宛(電報)	付記 十一月二十日付北樺太石油株式会社左近司社長より有田外務大臣宛庶発第九八五号 北樺太石油会社による試掘継続をめぐる交渉経緯について	389
四	247	昭和11年10月14日	一六九	在伊国杉村大使より 有田外務大臣宛(電報)	英国国王戴冠式に天皇の名代として秩父宮出席の旨伝達 エチオピアへの我が方領事館設置および満州国への伊国領事館設置に関する我が方外務次官申入れを伊国外相承諾について	321
二	25	昭和11年10月15日	二二二	在ジュネーブ横山国際会議事務局局長代理兼総領事より 有田外務大臣宛(電報)	今次連盟総会の経過において注意に値すべき諸事項について	460
五	294	昭和11年10月15日	会商二六六	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛(電報)	オーストラリア羊毛業者代表より交渉停滞打開のため我が方の羊毛輸入保証提示方要請について	541
五	295	昭和11年10月16日	会商八八	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	織物・羊毛リンク問題に関するオーストラリア側の態度内査方訓令	542
五	386	昭和11年10月20日	通二機密 七五	有田外務大臣より 在ブラジル沢田大使宛	ブラジル経済使節団の訪日成果について	718
三	66	昭和11年10月21日	五五二	在仏国佐藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	ロカルノ条約問題に関する独国回答により仏国は見切りをつけ対ソ接近考慮中とのレコ ード・パリ紙記者情報について	172
四	151	昭和11年10月21日	普通公 六八四	在米國斎藤大使より 有田外務大臣宛	移民法上の「商人」の再入米に必要な資格証明書下付につき中国人と同様の便宜を与えられるべく国務省と交渉する旨報告について	303
五	296	昭和11年10月22日	会商八九	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	交渉停滞の打開策としてオーストラリア羊毛業者代表に対し融通性のある提案提示の示唆方訓令	542
五	387	昭和11年10月23日	通一普通 二二二	有田外務大臣より 在本邦クライブ英国大使宛	日印通商条約廃棄通告に関する英国側説明への我が方回答について	720
三	67	昭和11年10月24日	二四一	在独国武者小路大使より 有田外務大臣宛(電報)	反共産共同工作に関する独国より英国への働きかけおよびニュルンベルグ党大会後の独ソ関係につき在英独国大使の内話について	173
三	68	昭和11年10月24日	二四二	在独国武者小路大使より 有田外務大臣宛(電報)	伊国外相の訪独中に反共産主義および欧州諸国間の諸問題につき独伊両国間に意見一致の旨独国外相内話について	173
五	361	昭和11年10月24日	五三	在ニューヨーク鈴木副領事より 有田外務大臣宛(電報)	米国綿業視察団出発延期の事情および日本側との協議方針に関する米国綿業協会会長の書簡内容通知について	658

三	69	昭和11年10月26日	二四四	在独国武者小路大使より 有田外務大臣宛(電報)	独国外相との会談に際し満州国承認問題への 我が方言及につき心得べき点諒訓	659
四	248	昭和11年10月27日	一六一	在サンパウロ市毛総領事より 有田外務大臣宛(電報)	差別待遇のない移民法案を期待するとのブラ ジルサンパウロ州統領の内話について	461
四	249	昭和11年10月29日	一七七	在伊国杉村大使より 有田外務大臣宛(電報)	日伊親善に向けた伊国側の誠意が我が方外相 に徹底されないのは遺憾である旨伊国外相表 明について	462
四	250	昭和11年10月29日	一六二	在サンパウロ市毛総領事より 有田外務大臣宛(電報)	サンパウロ州政府が提出したブラジル移民法 案修正対案について	464
四	251	昭和11年10月29日	一七九	別 電 十月二十八日発在サンパウロ市毛総領事より有田外務大臣宛第一六三号 右対案要旨	エチオピアへ我が方領事館設置の方針決定方 意見具申	464
五	297	昭和11年10月29日	会商二七九	在伊国杉村大使より 有田外務大臣宛(電報)	織物・羊毛リンク額に関するオーストラリア 側の感觸および我が方対案至急提出の必要性 について	543
三	70	昭和11年10月30日	一八〇	在伊国杉村大使より 有田外務大臣宛(電報)	独伊議定書調印による両国の赤化排撃状況お よび同調印に関する各国の反応につき在伊各 国大使より聴取について	175
三	71	昭和11年10月30日	八七	在ベルギー来栖大使より 有田外務大臣宛(電報)	新ロカルノ条約会議に対する関係各国の主張 につき在ベルギー独国外相公使館参事官より聴取 について	178
付 記 十二月四日付、条約局第三課作成 「新「ロカルノ」條約締結問題」				179		
三	132	昭和11年10月30日	機密二三九	在スペイン矢野公使より 有田外務大臣宛	各国大公使館によるスペイン人保護の困難化 および政府に捕われた捕虜救出問題への外交 団関与につき報告	260
三	72	昭和11年10月31日	一八一	在伊国杉村大使より 有田外務大臣宛(電報)	独伊議定書調印後の欧州問題に対する両国の 見解につき伊国外相および在伊独国外相より 聴取について	184
四	252	昭和11年10月31日	郵四	有田外務大臣より 在米國齋藤大使宛(電報)	今期フィリピン議会における外国人入国取締 法案提出から同案成立阻止に至るまでの経緯 について	466
五	362	昭和11年10月31日	五九	在ニューヨーク鈴木副領事より 有田外務大臣宛(電報)	米國綿業視察団訪日は明年一月にしたい旨米 國側申出について	660
十一月						
三	73	昭和11年11月2日	九〇	在ベルギー来栖大使より 有田外務大臣宛(電報)	ベルギー国王による同国の中立政策に関する 声明が周辺各国に与えた影響の観測について	185
四	253	昭和11年11月4日	三四九	在マニラ内山総領事より 有田外務大臣宛(電報)	外国人入国取締法案成立阻止のための対フィ リピン議会工作について	468
五	298	昭和11年11月9日	会商九三	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	オーストラリアとの通商紛争に対する我が方 の解決案について	544
二	26	昭和11年11月10日	二三三	在ジュネーブ横山國際會議事務局長代 理兼総領事より 有田外務大臣宛(電報)	連盟經濟部長より原料品問題に関する調査委 員会設置に際し同委員会への我が方参加意向 照会について	77
二	27	昭和11年11月11日	機密本公 七四〇	在ジュネーブ横山國際會議事務局長代 理兼総領事より 有田外務大臣宛	常設國際司法裁判所經費負担問題について	77

三	133	昭和11年11月11日	二五八	在独国武者小路大使より 有田外務大臣宛(電報)	独伊両国による叛乱軍政府承認は予想以上に 早い見込みにつき我が方も米英仏等に遅れる ことなく早期に承認すべき旨意見具申	265
二	28	昭和11年11月12日	二三四	在ジュネーブ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より 有田外務大臣宛(電報)	連盟経済部においては我が方の協力継続を相 当重視しているとの観察について	79
五	299	昭和11年11月13日	会商二八七	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛(電報)	羊毛輸入保証額等に関する我が方提案に対す るオーストラリア側回答について	545
二	29	昭和11年11月14日	七七	在ポーランド伊藤公使より 有田外務大臣宛(電報)	連盟経済部長よりの原料品購入問題に関する 我が方情報提供要請について	80
四	167	昭和11年11月14日	六二六	在英國吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)	日英関係好転の兆しに鑑み日独防共協定の発 表延期ないし不発表方意見具申	321
五	300	昭和11年11月14日	会商二八九	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛(電報)	オーストラリア側回答を受け今後の交渉方針 につき意見具申	548
四	168	昭和11年11月17日	六三一	在英國吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)	日独防共協定成立の風評に警戒感を示す英國 外相からの問合せに対する今後の応酬振り請 訓	322
五	301	昭和11年11月17日	会商九四	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	オーストラリア側回答に対する我が方対案に ついて	550
四	254	昭和11年11月18日	一八七	在伊国杉村大使より 有田外務大臣宛(電報)	我が方がエチオピア公使館を領事館に変更す る用意ある旨伊国外相へ伝達について	469
四	255	昭和11年11月18日	一八八	在伊国杉村大使より 有田外務大臣宛(電報)	日独防共協定と同様の協定を日伊間にも成立 すべきは自然のプロセスであるとの伊国外相 発言について	470

四	169	昭和11年11月19日	六三九	在英國吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)	日独防共協定は反共協定である旨英國政府に 内報後適切に公表するよう意見具申	323
五	363	昭和11年11月19日	六五	在ニューヨーク鈴木副領事より 有田外務大臣宛(電報)	米国綿業協会会長より米国綿業視察団の来日 日程通知について	661
五	302	昭和11年11月21日	会商二九一	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛(電報)	我が方対案に関するオーストラリア通商条約 大臣との応酬振りについて	551
三	134	昭和11年11月22日	一五六	在スペイン矢野公使より 有田外務大臣宛(電報)	オーストラリア側の強硬姿勢に関する推測および交渉妥結が得策につき再 度の譲歩案を提案すべき旨意見具申	553
三	74	昭和11年11月23日	一九〇	在伊国杉村大使より 有田外務大臣宛(電報)	日独防共協定の風説によりバルセロナにおけ る対日感情が悪化しているとの我が方名譽領 事報告について	266
五	303	昭和11年11月25日	会商九六	在シドニー村井総領事宛(電報)	日独伊接近の風説により英國の対伊態度緩和 について	186
三	75	昭和11年11月26日	機密公 三五二	在ソ連邦重光大使より 有田外務大臣宛	対日通商紛争解決条件に関するオーストラリ ア側の最終的態度確認方訓令	554
三	135	昭和11年11月27日	一六一	在スペイン矢野公使より 有田外務大臣宛(電報)	独ソ対立に対する欧州諸国の態度について	187
四	256	昭和11年11月27日	一九二	在伊国杉村大使より 有田外務大臣宛(電報)	スペイン内乱は欧州における仏国の影響力低 下および独国の地位強化をもたらす欧州は危 機的狀況にあるとの各国外交団観測について	266
五	304	昭和11年11月27日	会商二九七	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛(電報)	伊国外相宛書簡をもってエチオピアにおける 利益保護につき伊国の確認取付け方意見具申 オーストラリア側との最終妥協点および我が 方の諾否につき至急回答方要請について	471 555

四	257	昭和11年11月28日	一九四	在伊国杉村大使より 有田外務大臣宛(電報)	日伊間にも防共協定を結びたいとの伊国首相 および外相の内話について	472
三	136	昭和11年11月29日	一九六	在伊国杉村大使より 有田外務大臣宛(電報)	スペイン内乱は独伊と仏ソの対立に発展しあ たかも次の欧州大戦の序幕となる観を呈して きたとの伊国外相内話について	267
五	305	昭和11年11月30日	会商九七	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	付記 十二月二十九日発在仏国孤田大使館付陸軍武官より西尾参謀次長宛電報第 九七号 スペイン内乱現地視察報告	268
四	258	昭和11年11月30日	一九九	在伊国杉村大使より 有田外務大臣宛(電報)	伊国は対中・対ソ関係上我が方に特別の配慮 を示すべしとの要請につき伊国首相および外 相の反応について	472
四	259	昭和11年12月1日	二〇一	在伊国杉村大使より 有田外務大臣宛(電報)	オーストラリア側との最終的妥協案に対する 我が方対案について	556
二	30	昭和11年12月2日	二四六	在ジュネーブ横山国際会議事務局長代 理兼総領事より 有田外務大臣宛(電報)	エチオピアにおける我が方利益保護につき伊 国との書簡交換について	473
三	76	昭和11年12月2日	一〇五	在ベルギー来栖大使より 有田外務大臣宛(電報)	連盟経済部長より原料問題専門委員会の委員 選任に関する我が方意向照会について	81
五	306	昭和11年12月7日	会商一〇〇	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	「原料品取得問題」より抜粋 「原料品取得問題」我國ノ立場	81
五	364	昭和11年12月7日	四五二	在米国斎藤大使より 有田外務大臣宛(電報)	ベルギー外務省政務局長より日独防共協定お よび欧州におけるブロック分立化傾向に対す る英国側の反応につき聴取について	196
五	307	昭和11年12月8日	機密公 五一五	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛	羊毛数量問題ならびに綿布品種別問題および オーストラリア商保護問題に関する我が方方 針について	556
五	308	昭和11年12月11日	会商一〇四	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	羊毛数量問題ならびに綿布品種別問題に関する案文 に対する我が方見解について	570
五	309	昭和11年12月15日	会商一〇六	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	織物と羊毛の輸入数量保証に関する我が方見 解について	571
四	260	昭和11年12月16日	一七七	在ペルー村上公使より 有田外務大臣宛(電報)	ペルーにおける排日的大統領令につき我が方 要望と合致する決定案は未だ得られずとの報 告について	474
五	310	昭和11年12月20日	会商一二二	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	オーストラリアとの通商紛争解決に関する最 後案に基づき交渉妥結方訓令	572
三	77	昭和11年12月22日	八九	在ポーランド伊藤公使より 有田外務大臣宛(電報)	別電 十二月二十日発有田外務大臣より在シドニー村井総領事宛会商第一一三号 右最後案	573
					欧州政局の安定を条件に米国が対欧州経済援 助の意向を有する旨ポーランド外務省東外部 長の内話等について	197

五	388	昭和11年12月22日	一五四	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	綿布綿花割当量等に関する現時点でのビルマとの妥結点について	721
五	311	昭和11年12月23日	会商一一七	付 記 通商局作成、「昭和十一年度執務報告」より抜粋 日本・ビルマ会商の経緯について		722
五	389	昭和11年12月23日	公普通 三一	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	通告文の形式としたことの意味および今回の合意事項に関する協定締結につきオーストラリア側と協議方訓令	726
四	152	昭和11年12月24日	二〇八	在アルゼンチン寺嶋臨時代理公使より 有田外務大臣宛(電報)	特別汎米会議の評価報告について	304
四	170	昭和11年12月25日	七三七	在英國吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)	日独防共協定を背景とする対独感情の悪化とその対日感情への波及について	323
五	312	昭和11年12月25日	会商一二二	有田外務大臣より 在シドニー村井総領事宛(電報)	通告文の交換および内容の公表方法について	574
四	171	昭和11年12月26日	合一〇四三	有田外務大臣より 在英國吉田大使、在カナダ加藤公使宛(電報)	英國国王戴冠式出席のため秩父宮が明年三月にカナダを経由して英國に向かう旨伝達	325
四	172	昭和11年12月26日	七三九	在英國吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)	日英外交調整は貿易逆調改善および為替安定の観点からも重要なので具体的交渉に先立ち諸懸案の解決方意見具申	326
五	313	昭和11年12月28日	機密公 五二四	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛	オーストラリアとの通商問題要結に関する文書送付について	575
				付記一 十二月二十六日付 オーストラリア通商条約大臣より在シドニー総領事宛通告文要領		584
五	314	昭和11年12月28日	機公五二六	二 十二月二十六日付 在シドニー総領事よりオーストラリア通商条約大臣宛通告文要領		585
五	390	昭和11年12月30日	三七六	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛	十二月十八日から二十六日に至る交渉経過報告について	586
五	391	昭和11年12月30日	三七八	在シドニー村井総領事より 有田外務大臣宛(電報)	ビルマ側の綿布色物細分案の背景には英本国政府の指示がある旨報告について	728
				別 電 十二月三十日発在シドニー村井総領事より有田外務大臣宛第三七九号 綿花買付義務量および綿布品種別割合等に関するビルマ側新提案について		729
						730